



平成26年12月12日
国土交通省中部地方整備局

お知らせ

ミャンマーの研修生が名古屋港を視察しました。

～JICA 集団研修「港湾マネジメント」研修生を受け入れました～

1. 概要

独立行政法人国際協力機構(JICA)が実施している、平成26年度集団研修(ミャンマー国別研修)「港湾EDIシステム」の一環として、11月25日～26日、12月8日～9日の2班に分け、ミャンマーの研修生延べ16名を名古屋港にて受け入れました。

今回は、ミャンマー国の港湾ターミナル運営に係るMPA職員を対象に本研修を実施し、今後の円滑な港湾マネジメントにつなげていくことを目的に実施しております。

※国土交通省港湾局において、1963年から研修生を受け入れています。

※MPA:ミャンマー港湾公社(Myanmar Port Authority)

2. 研修の様子

別紙 ※研修の状況写真がご希望の方は対応いたしますので、お問い合わせください。

3. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、
港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

4. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部

港湾物流企画室 和田(わだ) Tel 052-209-6330 Fax 052-203-9739

5. 研修の参加者と行程(概略)

(1)出身国：ミャンマー国 10名

(2)行程(概略)：【1班】

○11月25日(火)

午前 名古屋港内視察、名古屋港管理組合 EDI システム概要

午後 飛島埠頭コンテナターミナル 視察

○11月26日(水)

午前 潮見埠頭ROROターミナル 視察

【2班】

○12月8日(月)

午後 名古屋港内視察、名古屋港管理組合 EDI システム概要

○12月9日(火)

午前 飛島埠頭コンテナターミナル 視察

午後 潮見埠頭ROROターミナル 視察

※RORO ターミナル:貨物をトラックやフォークリフト等で直接積み卸す(水平荷役方式)方式の船舶に対応したターミナル(roll on roll off)

(別紙)



名古屋港概要説明の様子



EDIシステム概要説明の様子



NUTS 概要説明の様子



飛島埠頭コンテナターミナル視察の様子



潮見埠頭ターミナル視察の様子 その1



潮見埠頭ターミナル視察の様子 その2

(視察の様子)

2班共に同行程で名古屋港の視察を行いました。はじめに、中部地方整備局において、名古屋港の役割や発展の過程などを学習後、同整備局名古屋港湾事務所の交通船・翔龍に乗船し新宝・東海元浜・北浜・飛島・金城などのふ頭を視察しました。船内では、自動車輸出基地や臨海工業地帯、食物やコンテナ基地、更に航空宇宙産業などの説明とともにパナマ運河の拡張やシェールガス革命など海運に関連する最新の話題について解説を行いました。その後、名古屋港管理組合に移動し、名古屋港EDIシステムの概要について説明を行いました。

現地視察では、名古屋港飛島埠頭NCBコンテナターミナルにて、名古屋港統一ターミナルシステムNUTSの概要説明やコンテナターミナルの荷役状況の視察を行いました。また、潮見埠頭ROROターミナルでは、実際に本船内での荷役状況を視察し、研修生は自動車の積みつけ方や荷役の早さに興味を示していました。